

SADC

作品
受付 9/21 (SAT) - 本審査
(一般公開) 22 (SUN)

札幌アートディレクターズクラブ コンペティション&アワード2019 応募要項

SAPPORO ART DIRECTORS CLUB

作品受付

部門 **1→9** & 新人賞部門

9月21日(土) 10:00-15:00

札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」

※作品受付会場等の住所は右記「作品受付会場」の欄をご覧ください。

部門 **10**

9月9日(月)～9月13日(金)

オンライン受付(担当:工藤哲央)

出品書類は、www.sapporo-adc.comからダウンロードしてください。

●作品カード(PDF/AI) ●出品リスト(PDF/AI) ●部門9・部門10専用説明シート(PDF/AI)

[お問い合わせ]

札幌ADC事務局 担当:小田小百合

sadc@sapporo-adc.com Tel.011-662-0033 Fax.011-663-6880

〒063-0012 札幌市西区福井6丁目4-3

株式会社 大栄パッケージ内

CONTENTS

- 03 応募規定
- 04 全部門共通注意事項
- 05 作品受付時に提出するもの
- 06 作品受付会場
- 07 賞と選
- 08 札幌ADCの審査方法
- 09 選考結果の発表と通知
- 10 部門1 ポスター
- 11 部門2 新聞広告・雑誌広告
- 12 部門3 ブック・エディトリアル
- 13 部門4 CI・シンボル・ロゴ・タイポグラフィ
- 14 部門5 パッケージ
- 15 部門6 ジェネラルグラフィック〈立体〉
- 16 部門7 ジェネラルグラフィック〈平面〉
- 17 部門8 環境・空間・サイン・ディスプレイ
- 18 部門9 WEB・インタラクティブメディア
- 19 部門10 TV-CM・映像・モーショングラフィック
- 20 新人賞部門
- 21 招待審査員
- 22 Sapporo ADC 運営・監査委員

応募規定

出品者の資格

プロのクリエイター 札幌ADC会員および北海道在住のクリエイター

× 学生は出品できません。 ① 新人賞部門のみ35歳以下の方が対象です。

対象作品

2018年10月から2019年9月(審査会)までの間に北海道内で制作された作品

● 実際に各メディア等で発表・使用・掲載・掲出・放映された作品

● 自主制作作品

○ 北海道在住のクリエイターが制作したものであれば、道外で発表された作品でも応募できます。

× 同一作品の重複応募は認めません。

出品にあたっては、制作スタッフ間で調整の上ご応募ください。

自主制作作品について

○ 札幌ADCでは、クラブの趣旨から自主制作作品を歓迎します。

○ 印刷物の他、プリンター出力等でも出品できます(部門9・10を除く)。

① 自主制作作品は、作品カードの「自主制作」の欄に、必ず○印をつけてください。

〔自主制作作品として出品できるもの〕

○ ポスター展等のテーマ展やデザインコンペティション等に出品された作品

○ その他自主的に制作された作品

(メッセージポスター、意見広告、実験作品、試作品等)

〔出品できないもの〕

× 企業・行政機関・団体等へのプレゼンテーション作品(コンペ不採用作品含む)

× その他実在する企業・団体等の名称を無許可で用いた作品

(企業・団体等の名称を用いた自主制作作品を応募する場合は、その企業・団体等の承認を得てください)

× 著作権・肖像権等、他者の諸権利に抵触するもの

× その他札幌ADC運営委員会が不適当と判断した作品

出品できる点数

出品点数に制限はありません。何点でも応募できます。

全部門共通注意事項

原則、審査受付会場に直接持参・受付

札幌ADCはボランティアによって運営しています。
作品保管スペース・審査会場への作品運搬・管理などの物理的・
資金的・人的負担を軽減するため、部門10以外の方は
原則として出品者の方に直接審査会場へ搬入いただきます。
ご理解とご協力をお願いします。

札幌圏以外の方で、会場に来られない方に限り
郵送等による出品を受け付けます。

×札幌圏の方からの郵送等による出品は受け付けません。
(札幌圏とは、一般的に通勤圏内と認知されている地域とします)

台紙は「紙製」のものを使用

- ① 各部門の応募規定により作品を台紙に貼る場合は、紙製で、
折れたり破れたりしにくい、しっかりとしたものを使用してください。
ただし厚さ1mm程度以内のものとしします。

1枚の台紙の基準は「B2判以下」

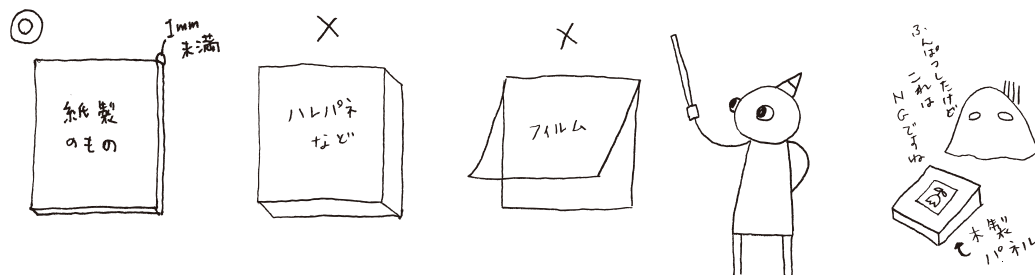
- ① B2判サイズ以上のサイズは2枚分の料金になります。
ただし天地左右20mm程度のオーバーは料金範囲内とします。

パネル・フィルム・不燃物厳禁

- × 上記の台紙のかわりに不燃物や厚みのある材質を
使用したもの、フィルムなど不燃物で作品保護(カバー)を
したものは受付いたしません。

受付できないもの

- × 樹脂製など不燃物を使った台紙(ハレパネなど)
- × ベニヤや木製の芯を使った台紙(イラストボードなど)
- × 紙製でも1mm以上の厚みのある台紙(ダンボールなど)
- × 不燃物の作品保護カバー(アセテートフィルムなど)



作品受付時に提出するもの

出品者名の欄には、必ず「制作者名(制作代表者名)」を書いてください。
(受付会場に搬入される方は代理の方でもかまいません)

1 作品(作品カード貼付)

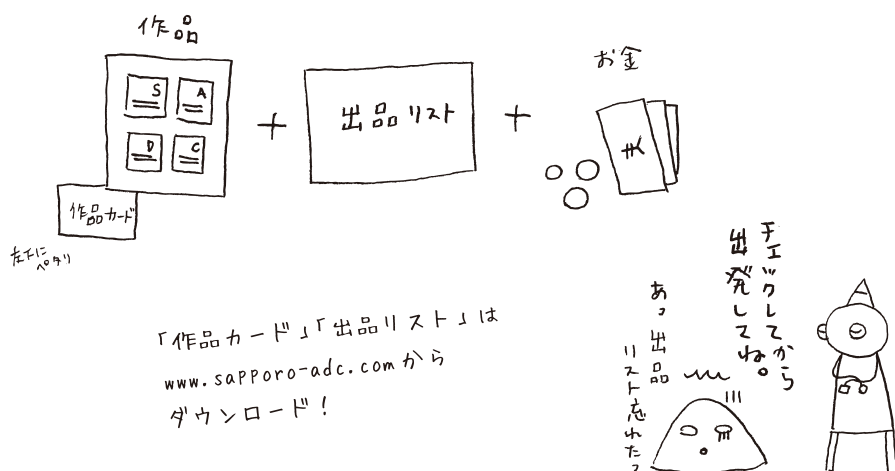
作品本体または台紙1点につき作品カード1枚を所定の位置に貼付してください。

2 出品リスト

すべての出品作品を記入してください。

3 出品料

出品料金は部門ごとに異なります。
各部門の欄をご覧ください。



出品料は作品受付時に、会場にてお支払いください。

- ❶ 札幌圏以外の方で郵送応募の場合は、事前に銀行振込にてお支払いいただきます。詳しくは「作品受付会場」の欄をご覧ください。
- ❷ 札幌ADC賛助会員(法人・個人とも)は一般料金となります。
- ❸ 札幌ADC正会員であっても年会費を未納の方は、一般料金が適用されます。
審査会後に年会費を納入されても出品料差額の返金はいたしませんので、必ず審査会前にご入金ください。

よろしければ、この機会に
『札幌ADCの会員』に
なりませんか？

正会員になると、審査会の出品料が一般料金の半額になります。
また、今回の審査会での入賞・入選作品を掲載した
「札幌ADC年鑑」2冊(一般価格16,000円相当)が、無料で入手できます。
詳しくは www.sapporo-adc.com をご覧ください。

作品受付会場

① 地区、部門により受付日時・受付場所が異なります。

部門 1 → 9 & 新人賞部門

〈直接搬入受付〉

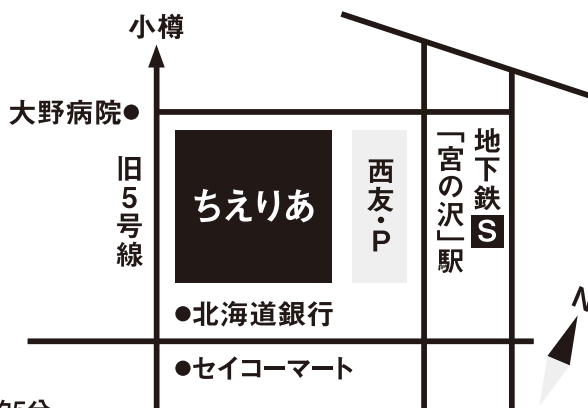
札幌市生涯学習総合センター 「ちえりあ」2F大研修室

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

〔受付日時〕

2019年9月21日(土) 10:00～15:00

地下鉄東西線「宮の沢」駅より地下直結通路・徒歩約5分
駐車場あり(西友駐車場と共用)



部門 10

〈オンライン受付〉

札幌ADC受付窓口

e-mail: kudo@morning-sp.co.jp
振込先:北洋銀行 円山公園支店
(普)3760576 札幌ADC

〔受付期間〕

2019年9月9日(月)～13日(金)

Tel.011-241-2220

(株式会社モーニング内 担当／工藤哲央)

料金をお振込後、

下記5点をオンラインストレージでアップロードし、
「ダウンロードURL」をメールにてお送りください。

送り先:部門10担当／工藤哲央(e-mail:kudo@morning-sp.co.jp)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (a) 作品 | (d) 部門10説明シート(絵コンテ等) |
| (b) 作品カード[JPGまたはPDF] | [JPGまたはPDF] |
| (c) 出品リスト[JPGまたはPDF] | (e) 振込の控えまたは利用明細書 |
| | [JPGまたはPDF] |

札幌圏以外の方

全部門

〈郵送・宅配等で受付〉

札幌ADC受付窓口

〒060-0033
札幌市中央区北3条東5丁目 岩佐ビル3F
有限会社寺島デザイン制作室内

〔受付期間〕

2019年9月9日(月)～9月13日(金) 必着

Tel.011-241-6018(担当／矢野)

Fax.011-241-6118

事前に出品料を振り込み、

振込票のコピーを作品リストに添付してください。

振込先:北洋銀行 円山公園支店(普)3760576 札幌ADC

賞と選

すべての入賞・入選作品は『札幌ADC年鑑 2019』に掲載されます。

(2020年5月発行予定)

札幌ADCの各賞(新人賞を除く)は、「作品(と制作チーム)」に
対して贈られるものです。

グランプリ

全部門(新人賞部門を除く)の金・銀・銅賞作品の中から
1作品選出されます。
※札幌ADCより、制作チーム(制作代表者)に
トロフィー1基を贈呈。

準グランプリ

全部門(新人賞部門を除く)の金・銀・銅賞作品の中から
1作品程度選出されます。
※札幌ADCより、制作チーム(制作代表者)に
トロフィー1基を贈呈。

金賞・銀賞・ 銅賞

各部門(新人賞部門を除く)の賞ノミネート作品の中から、
金賞・銀賞・銅賞あわせて各部門3作品程度
選出されます。
※札幌ADCより、制作チーム(制作代表者)に
トロフィー1基を贈呈。

審査員 チョイス賞

柿木原政広賞、金井あき賞、菊地敦己賞、小林一毅賞、
岡田善敬賞、前田麦賞
全ての作品の中から各審査員が最も気になった1作品を
選びます。
※例年、それぞれの審査員のご厚意により、
各審査員オリジナルのトロフィー・記念品などが
受賞者へ贈られています。

入選

全部門(新人賞部門を除く)合わせて300~400作品
程度選出されます(各部門の入選数は部門の出品数に
応じた比例配分となります)。
各部門の上位得票入選作品を賞ノミネート作品とします。

会員審査賞

札幌ADC正会員による投票で、各部門(新人賞部門を
除く)で最も得票の多い作品が会員審査賞として選出
されます。(各部門1作品)
※札幌ADCより、制作チーム(制作代表者)に
トロフィー1基を贈呈。

新人賞

●新人賞は35歳以下の「人」に贈られる賞です。
新人賞部門への応募者の中から
1~若干名選出されます。
※札幌ADCより、トロフィーを贈呈。

※審査の内容によって、賞の数が増減することがございます。

札幌ADCの審査方法

本審査 入選～グランプリ、審査員チョイス賞の選出

6名の招待審査員によって3次にわたる審査が行われます。

1次審査

入選・賞ノミネート
作品選出

各審査員が優れていると思う作品に1票を投じていきます。
(投票できる作品数は無制限)。
合計得票数によって賞ノミネート・入選作品を決定します。

2次審査

金・銀・銅賞
作品選出

各審査員が賞ノミネート作品の中から上位5作品を選び、
1位＝5点、2位＝4点…の得点を与えます。
原則として合計得点の高い作品から金・銀・銅賞が選出
されますが、得点差の状況によっては、協議や決選投票
を繰り返して選出されます。

最終審査

グランプリ・
準グランプリ
作品選出

各審査員が全部門の金・銀・銅賞作品の中から上位3作品を
選び、1位＝5点、2位＝3点、3位＝1点の得点を与えます。
原則として合計得点の高い作品からグランプリ・
準グランプリが選出されますが、得点差の状況によっては、
協議や決選投票を繰り返して選出されます。

審査員

チョイス賞

審査員チョイス賞は、1次審査～最終審査を通して
各審査員が個人的に最も気になった作品を選出します。
このため、他の賞と重複する場合があります。

会員審査 会員審査賞の選出

札幌ADC正会員によって審査が行われます。

各自、各部門ごとに優れていると思う3作品(自身が制作に関与した作品を除く)
を選び投票します。合計得票の最も多い作品が会員審査賞に選出されます。

新人賞審査 新人賞の選出

招待審査員と札幌ADC 運営・監査委員によって審査が行われます。

招待審査員得点と札幌ADC 運営・監査委員得点を合算し、
合計得点の高い1～若干名のエントラントを新人賞として選出します。

〔招待審査員〕

各自優れていると思う3エ
ントラントを選び、1位＝3
点、2位＝2点、3位＝1点
の得点を与えます。

〔札幌ADC運営・監査委員〕

各自優れていると思う3エントラントを選び1票を投
じます。
合計得票数の高い上位3エントラントに1位＝3点、
2位＝2点、3位＝1点の得点を与えます。

＼ 審査会を見に行こう! /

本審査(一般公開)

9月22日(日) 9:30-19:30

札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」にて

札幌ADCの審査・開票は「公開」です。審査員がどんな作品に
どんな反応をするのか目撃するもよし、開票の行方を見守るも
よし。そして、ズバリと並んだ応募作はまぎれもなく「1年分の北
のクリエイティブ成果」。そんな作品の数々をじっくり見ることで
も、大いに刺激を受け、勉強になる機会になりますよ。

選考結果の発表と通知

審査会場での発表とパーティでの発表

入選および各賞(会員審査賞と審査員チョイス賞を除く)の作品は、9月22日(日)審査会場にて決定次第、随時発表しますので、ぜひ会場にお越しください。また、同日審査会終了後別会場にて、入賞作品の紹介および審査員の方々と気軽に話せるパーティを開催。会員審査賞と審査員チョイス賞はパーティ会場にて発表します。会場等詳細は決定次第 www.sapporo-adc.com に掲示します。

応募者への選考結果の通知

入選以上の作品については、後日、書面にて出品者へ通知いたします。入選・入賞以外の作品の選考結果については通知いたしません。ご了承ください。

入選・入賞作品の再提出について

年鑑掲載にあたり、作品のデジタルデータまたは作品実物を再提出していただく場合があります。また、作品実物は撮影のため解体させていただく場合があります。

入選・入賞作品の作品クレジットについて

入選・入賞作品の作品クレジット(制作スタッフ名等)は、後日、所定の形式にてメールで提出していただきます。

諸権利について

「札幌ADC年鑑」の編集著作権は札幌アートディレクターズクラブに帰属し、有償頒布等による収益は札幌アートディレクターズクラブの収入金とさせていただきます。作品出品に際しては、審査会や展覧会での作品公開、年鑑・ウェブサイト掲載の場合を想定し、著作権・肖像権等の諸権利について、クライアントや共同制作者、関連業者など関係者の承諾が必要な場合は、出品者の責任において事前に承諾を得てください。審査会や展覧会での作品公開、年鑑・ウェブサイトへの作品掲載にあたり、札幌アートディレクターズクラブは一切の責任および支払義務を負いません。

入選・入賞の取り消し

下記のいずれかに該当するものは、入選・入賞の発表・通知後でも取り消す場合があります。

- 応募要項に反するもの
- 他者の諸権利に抵触するもの
- 札幌アートディレクターズクラブ運営委員会が不適当と判断したもの
- 年鑑制作のための作品の再提出やデータ提出、作品クレジット原稿の提出に応じていただけない場合
- 出品者名が制作者(制作メンバー)名ではない場合
- 年鑑の作品クレジット原稿に出品者の氏名が記載されない場合

作品返却・審査会終了後の作品の取り扱い

搬出
日時

2019年9月23日(月・祝)
14:00-16:00

作品返却希望の作品には、作品カードの所定箇所に印をつけてください。
作品は審査会場(ちえりあ)にて下記日時に必ずお引き取りください。

※左記日時以外の作品搬出はできません。

※札幌圏以外の出品者に限り、送料着払いにて作品返却いたします。

返却をご希望の方は、作品カード備考欄にその旨を必ずお書きください。

※入選・入賞作品については撮影のため一旦事務局で保管後、ご返却いたします。

返却日時については、出品受付当日の会計時に別紙を配布させていただきますので、そちらをご覧ください。また、WEB上でもお知らせいたします。

なお、年鑑掲載のための撮影にあたって解体等の必要が生じた作品については、返却できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

その他の作品は搬出指定時間終了後、当日中に処分させていただきます。

1 ポスター

1-a

広告・プロモーションポスター

商品広告、企業・団体・店舗の広告、イベントプロモーションなど

1-b

文化ポスター・自主制作ポスター

企画ポスター展や個展用出品作品、ポスターコンペ出品作品、自主制作作品など

出品形態

単品 ——— 1枚のポスター

シリーズ ——— 複数枚のポスターが一連の流れ(同一ブランド、同一テーマ、同一キャンペーン等)で展開されたもの。

- ① 図柄の連続性にかかわらず、断裁された印刷物1枚を1点と数えます。
 連貼り作品はシリーズ扱いになります。

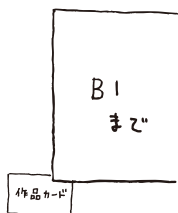
出品料

単品	①B1判まで	1枚	一般2,000円・正会員1,000円
	②B1判を超えるもの	1枚	一般4,000円・正会員2,000円
シリーズ	単品料金×枚数		

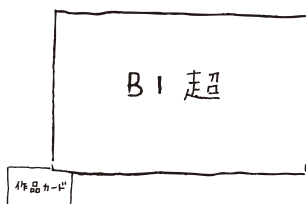
注意事項

- ポスター実物をそのまま提出してください。
 × パネル貼り・フレーム付は受け付けません。
 ① 短辺または長辺のいずれかがB1正寸を超えるものはB1超料金です。
 ② JAGDA等の展覧会出品作品は、自主制作となりますのでカテゴリーは「1-b」です。

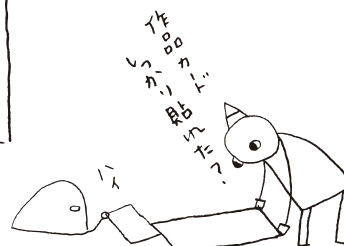
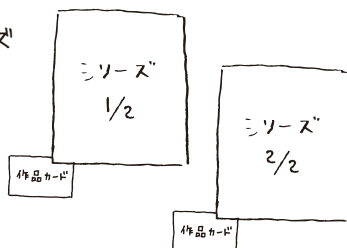
単品



単品



シリーズ



部門 2 新聞広告・雑誌広告

2-a

新聞広告

全国紙・地方紙・業界紙などの新聞広告、新聞広告賞出品作品など

- ① 新聞広告賞出品作品の場合は、主催者および課題主の承認を得た上で出品してください。

2-b

雑誌・フリーペーパー広告

総合誌・情報誌・専門誌・タウン誌などの雑誌広告、フリーペーパー広告など

出品形態

単品 —— 1つの紙面・誌面内の1カ所に掲載された広告

シリーズ —— 複数点の広告が一連の流れ（同一ブランド、同一テーマ、同一キャンペーン等）で展開されたもの。

- ① 同一の紙・誌・号内であっても、複数カ所に掲載されたものはシリーズ扱いになります。

出品料

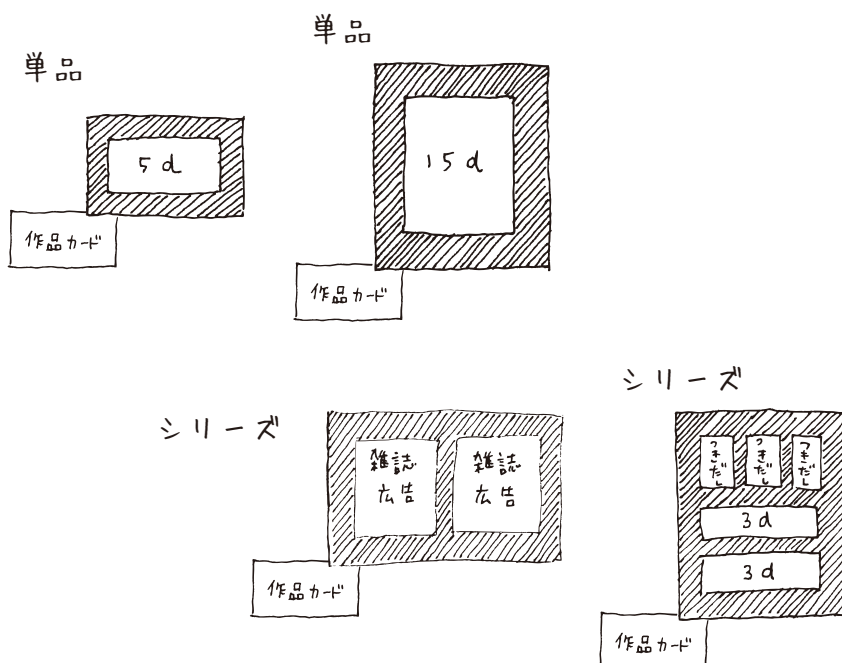
単品 ①台紙B2判以内 1点 一般2,000円・正会員1,000円

②台紙B2判超 1点 台紙B2ヨコ台紙枚数×①単品料金

シリーズ 台紙B2判 台紙1枚につき 一般4,000円・正会員2,000円

注意事項

- 単品・シリーズともに台紙貼りの上提出。（裏面の印刷が透けて見えないよう、台紙は黒色とします）
○ シリーズ作品は台紙内に何点配置してもかまいません。
① 新聞別刷り広告特集など「エディトリアル記事と一体となった形で出品」する場合は「部門3」です。



部門 3 ブック・エディトリアル

- ① パンフレットや冊子など、「エディトリアルデザイン」に関するものはこの部門になります（綴じられているか、綴じられていないかは問いません）。
- ① リーフレットの場合、「エディトリアルデザイン」としての審査を希望する場合はこの部門に、「グラフィックデザイン」としての審査を希望する場合は「部門4」に出品してください。

3-a

書籍・雑誌・フリーペーパー（ブック全体のデザイン）

書籍、雑誌、情報誌、広報誌、フリーペーパーなどの出版物

3-b

パンフレット・リーフレット（冊子全体のデザイン）

会社案内、学校案内、アニュアルレポート、カタログ、パンフレット、CD・DVDの冊子、カードブック、リーフレットなど

3-c

表紙のみのデザイン

雑誌の表紙、書籍の装幀など

3-d

中ページのエディトリアルデザインのみのデザイン

雑誌の特集ページなど

出品形態

- 単品 —— 1冊の書籍・冊子
 シリーズ —— 複数の冊子が一連の流れ（同一タイトル、同一テーマ、同一キャンペーン等）で展開されたもの。

- ① 付録・別冊等、別添のものを含む作品はシリーズ扱いとなります。

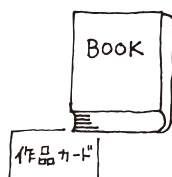
出品料

3a~3c	単品	1点（冊）	一般2,000円・正会員1,000円
	シリーズ		単品料金×点数
3d	台紙B2判ヨコ	台紙1枚につき	一般2,000円・正会員1,000円

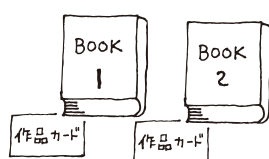
注意事項

- 3-a~3-cは単品・シリーズともに印刷物本体をそのまま提出してください。
 × 3-a~3-cは台紙貼りはいししないでください。
 ① 3-cは中ページ部分をテープでとめるなどして、開かないようにしてください。
 ① 3-dは台紙に構成して提出してください。

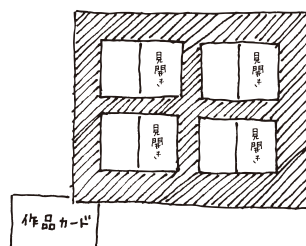
単品



シリーズ



3-dのみ



4 ジェネラルグラフィック〈平面〉

- ① この部門は平面作品のみが対象です。立体作品は「部門5」です。
- ② 使用状態が立体になるものは、提出形態が平面であっても、この部門の対象にはなりませんのでご注意ください。
(例:Tシャツや組み立て型のカレンダー、一部が折れて立ち上がる名刺など)。
- ③ 受付時の判断で出品部門が変わる場合があります。



平面作品と立体作品の混合によるシリーズ出品はできません。
それぞれの部門に分けて出品してください。

4-a

機能性作品

作品自体が使用上の直接的な機能目的を持つもの
カレンダー(壁掛け型など平面のもの)、チケット、賞状、ボードゲーム、
パズル、しおり、名刺・封筒・レターヘッド、ステーションナリー、コースターなど

4-b

コミュニケーションメディア作品

告知・お知らせ、宣伝・販促、プロモーション、広報などを目的とするもの
フライヤー、チラシ、DM郵送物・DMハガキ、年賀状、平面の販促POPなど

出品形態

- 単品 ——— 1つの印刷物、1つのパッケージにおさめられたアイテム
シリーズ ——— 複数の印刷物が一連の流れ(同一ブランド、同一テーマ、
同一キャンペーン等)で展開されたもの。

出品料

単品	①作品本体そのまま 1点	一般2,000円・正会員1,000円
	②台紙A4判まで 1枚	一般2,000円・正会員1,000円
シリーズ	台紙B2判ヨコ 台紙1枚につき	一般4,000円・正会員2,000円

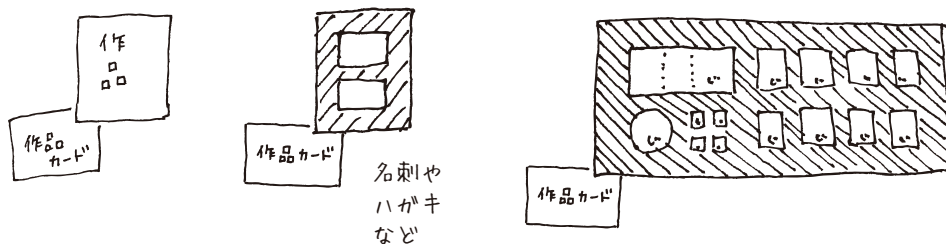
注意事項

- 単品は原則として印刷物本体をそのまま提出。
ただし、名刺やハガキ、カード類など小型の作品の場合、A4判以内の台紙に貼って提出できます。
- ① A4を超える台紙に貼って提出する場合は、単品であってもシリーズ料金になります。
- シリーズ作品は台紙内に何点配置してもかまいません。
- × 作品を立体的に貼ったり、浮き上がるように貼られた台紙は受け付けません。
- × バンフレットやリーフレットなど、エディトリアルデザインに関するものは「部門3」です
(表紙のみの場合、中ページのみの場合も同様)。
- × 自立スタンド型(CDケース型など)のカレンダーは「部門5」です。

単品

A4以内の台紙なら
単品扱い

シリーズ



5 ジェネラルグラフィック〈立体〉

- ❶ この部門は立体作品のみが対象です。平面作品は「部門4」です。
- エコバッグはこの部門になります。
- ❶ ペーパーバッグの場合、宣伝・販促(コミュニケーション・メディア)を目的とするものはこの部門に、製品・商品の包装(パッケージング)を目的とするものは「部門6」に出品してください。
- ❶ 小型プロダクト作品はすべてこの部門になります。
- ❶ 受付時の判断で出品部門が変わる場合があります。

× 立体作品と平面作品の混合によるシリーズ出品はできません。
それぞれの部門に分けて出品してください。

5-a

機能性作品(小型プロダクト)

作品自体が使用上の直接的な機能目的を持つもの
組立型カレンダー・立体カレンダー、トロフィー、半立体の賞状、
Tシャツ、グッズ、エコバッグなど

5-b

コミュニケーションメディア作品

告知・お知らせ、宣伝・販促、プロモーション、広報などを目的とするもの
立体の販促POP、ノベルティグッズ、販促キャラクターグッズ、
立体の販促ツール、販促ペーパーバッグなど

出品形態

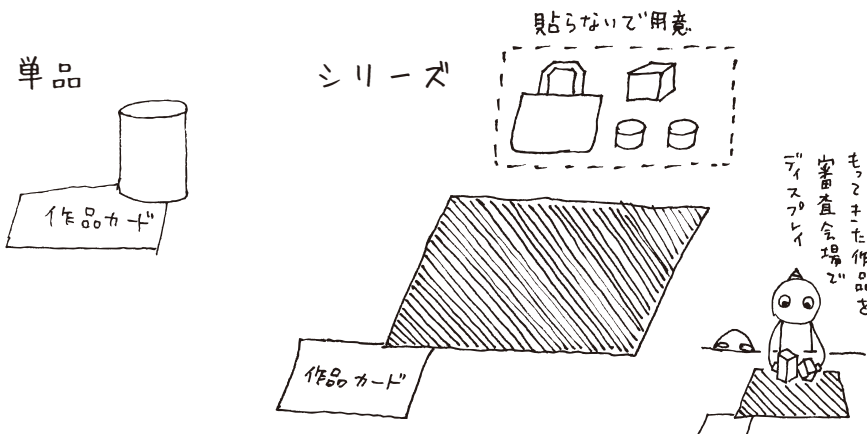
- 単品 ——— 1つのアイテム・プロダクト(個体)
シリーズ ——— 複数のアイテムが一連の流れ(同一ブランド、同一プロジェクト、
同一キャンペーン等)で展開されたもの。

出品料

単品	①作品本体そのまま	1点	一般2,000円・正会員1,000円
	②台紙A4判まで	1点	一般2,000円・正会員1,000円
シリーズ	台紙B2判ヨコ	台紙1枚につき	一般4,000円・正会員2,000円

注意事項

- 単品の場合は製品本体をそのまま提出(ただし、小型作品の場合A4台紙に貼って提出できます)。
- シリーズ作品の場合は出品者自身により、展示用の台紙を持ち込みいただき、審査会場にてディスプレイしていただきます。
- ❶ A4を超える台紙に置いて提出する場合は、単品であってもシリーズ料金になります。
- ×
- × 作品サイズはおおむね机上・卓上使用サイズまでとします。
のぼりやパネルなど、空間演出のための大型作品は写真撮影の上、「部門7」へ出品してください。



6 パッケージ

- ① パッケージ(製品・商品等を包むもの)と小型プロダクトは別の部門になります。この部門はパッケージのみが対象です。

6-a

本体の立体形状デザインを含む作品

作品本体の立体形状からオリジナルにデザインされた(既製品や規格品、既製の型等を使用していない)箱、ボトル、缶、ラベル、食品の外装袋、薬袋、CD、DVD等のパッケージ・包装、ショッピングバッグなど

6-b

既製品や規格品の本体を使用した作品

作品本体の立体形状には既製品や規格品、既製の型等を使用してデザインされた箱、ボトル、缶、ラベル、食品の外装袋、薬袋、CD、DVD等のパッケージ・包装、ショッピングバッグなど

出品形態

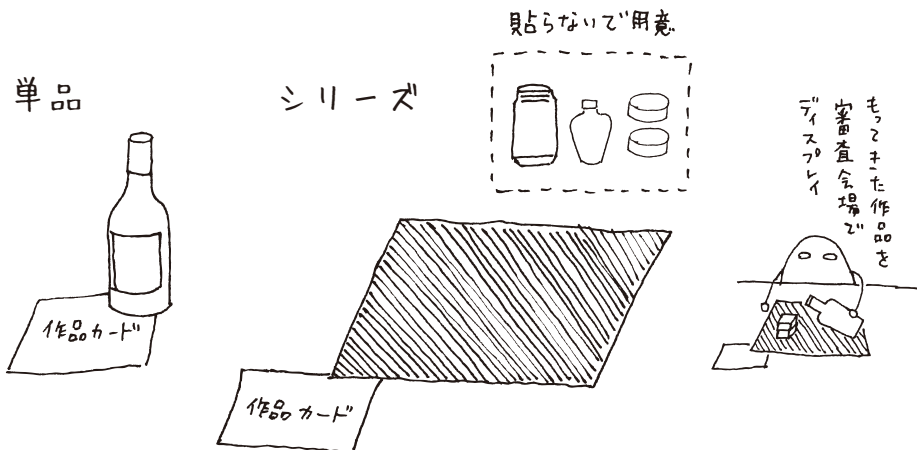
- 単品 —— 1つのアイテム・プロダクト(個体)
シリーズ —— 複数のアイテムが一連の流れ(同一ブランド、同一プロジェクト、同一キャンペーン等)で展開されたもの。

出品料

単品	①作品本体そのまま	1点	一般2,000円・正会員1,000円
	②台紙A4判まで	1点	一般2,000円・正会員1,000円
シリーズ	台紙B2判ヨコ	台紙1枚につき	一般4,000円・正会員2,000円

注意事項

- 単品の場合は製品本体をそのまま提出(内容により台紙も可)。
- シリーズ作品の場合は出品者自身により、展示用の台紙を持ち込みいただき、審査会場にてディスプレイしていただきます。
- ① A4を超える台紙に置いて提出する場合は、単品であってもシリーズ料金になります。
- × 小型プロダクトは「部門5」です。
- × 宣伝・販促(コミュニケーション・メディア)を目的とするペーパーバッグは「部門5」です。
- × エコバッグは「部門5」です。
- × ステーションナリーの封筒、DMの封筒は「部門4」です。
- × CD・DVDのインナーブックレット(冊子のエディトリアルデザイン)は「部門3」です。



7 環境・空間・サイン・ディスプレイ

7-a

常設作品

ショップ・レストラン、学校・教室、ホテル、公共施設等、
長期的・常設的な使用を目的とする空間、サイン、ディスプレイ、
モニュメント、フラッグ、バナー、デジタルサイネージなど

7-b

仮設作品

イベント、展示・展覧会、ステージ等、
一時的・仮設的な使用を目的とする会場、サイン、ディスプレイ、
ビルボード、フラッグ、バナー、デジタルサイネージなど

出品形態

- 単品 ——— 1つのプロジェクト(物件、会場、アイテム等)
シリーズ ——— 複数のプロジェクトが一連の流れ(同一ブランド、同一テーマ、
同一キャンペーン等)で展開されたもの。

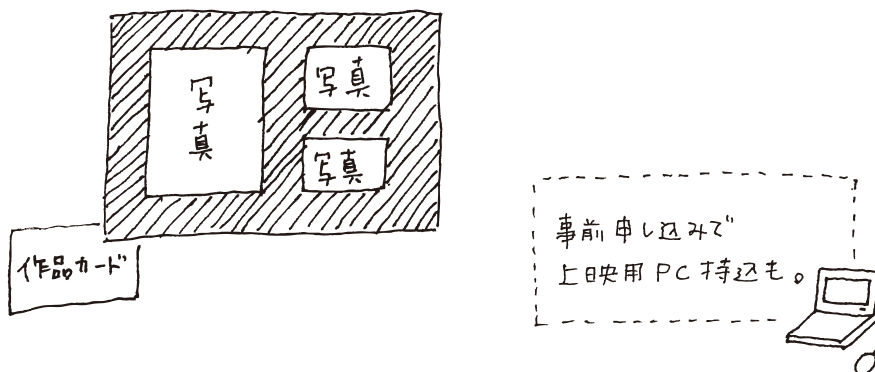
出品料

単品 台紙B2判ヨコ 台紙1枚につき 一般2,000円・正会員1,000円

シリーズ 単品料金×B2判ヨコ台紙枚数

注意事項

- 作品の効果がわかるような複数の写真等を、B2ヨコ位置の台紙に配置して提出。
(台紙内に何点配置してもかまいません)
- ① 台紙は必ずB2判ヨコ位置(左右728mm×天地515mm)としてください。
- ① 1プロジェクトであっても、台紙が複数枚になる場合はシリーズ扱いになります。
- デジタルサイネージやネオンサイン等動きのあるものは、
台紙の他に動画上映用のPC等を持ち込むこともできます。
事前に札幌ADC事務局にご相談ください。
- × CI・VI展開は「部門8」です。



8 CI・シンボル・ロゴ・タイポグラフィ

シリーズの台紙枚数が
1枚までになりました。

8-a

CI・シンボル・ロゴ

CI計画、VI計画、シンボル、ロゴタイプなど

8-b

タイポグラフィ・タイプフェイス

タイポグラフィ、書体、フォントなど

出品形態

単品 —— 単体のシンボル・ロゴ、A4におさまる展開例、1ウェイトのフォント等
シリーズ —— 複数のデザイン要素が一連の流れ(同一ブランドのCI・VI、同一書体ファミリー等)で展開されたもの。

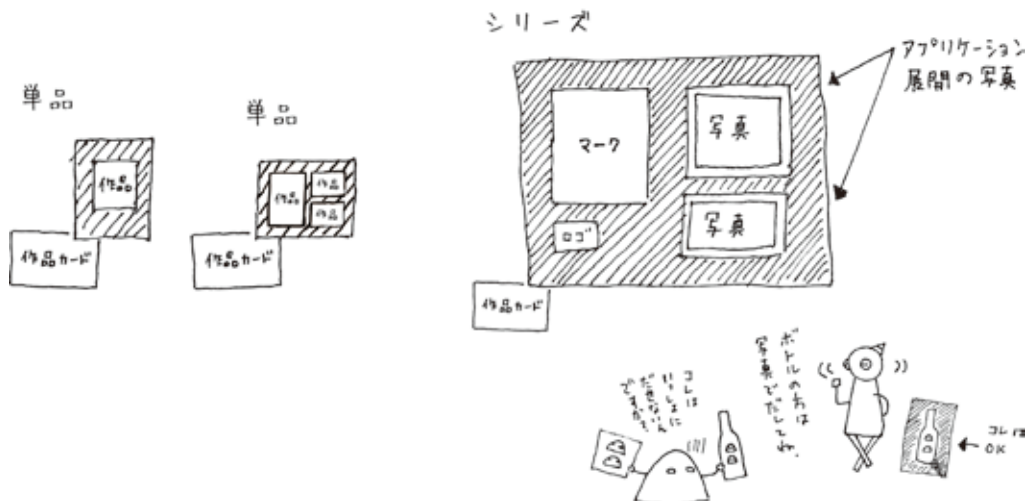
❶ フォントは複数のウェイトやスタイルを例示したものはシリーズ扱いとなります
(例:レギュラー+ボールド、レギュラー+イタリック等)。

出品料

単品	台紙A4判まで	1枚	一般2,000円・正会員1,000円
シリーズ	台紙B2判ヨコ	1枚まで	一般4,000円・正会員2,000円

注意事項

- 単品(A4判まで)・シリーズ作品は台紙内に何点配置してもかまいません。
(フォントの場合は、作品の特徴がわかるよう適当な文字数を構成)
- A4を超える台紙に貼って提出する場合は、単品であってもシリーズ料金になります。
- ❶ CI計画、VI計画のシリーズやアプリケーション展開を例示する場合は、B2判ヨコ1枚の中に、必ず写真で構成してください。平面・小型であっても実物貼付は不可。



9 WEB・インタラクティブメディア

9-a

WEB作品

ウェブサイト、ウェブページ、スマホサイトなど

9-b

インタラクティブ作品

CD-ROMコンテンツ、DVDコンテンツ、スマホアプリなどインタラクティブ作品

出品形態

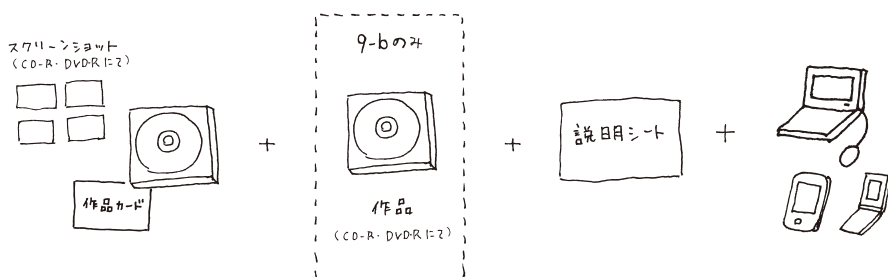
- 単品 ——— 1つのウェブサイト、1つのデジタルメディア作品
 シリーズ ——— 複数のデジタルメディア作品が一連の流れ（同一ブランド、同一テーマ、同一プロジェクト等）で展開されたもの。

出品料

単品	1点	一般2,000円・正会員1,000円
シリーズ		単品料金×点数

注意事項

- 9-a・9-bともに、展示・審査のための機材を出品者ご自身でご用意いただきます。
 （作品が動作するノートPC、デスクトップPC、スマホ端末、iPhone、iPad等）
 会場では審査員の他、一般来場者が作品閲覧のため直接機材に触れて操作します。
 予めご了承ください。
 機材搬入:9月21日(土) 出品受付時 / 機材搬出:9月23日(月・祝)14:00 ちえりあ2F大研修室
- 会場には無線LAN(AirMac / IEEE 802.11n Wi-Fi)でのインターネット接続環境を用意する予定です。有線でインターネットに接続したい場合、無線LANを利用できない機材の場合は、HUBとケーブルをお持ち込みください。
- 9-aは次の2点を提出してください。
 - 部門9専用説明シート
 - 画面スクリーンショットの画像4点(CD-R等にて)
- 9-bは次の3点を提出してください。
 - 部門9専用説明シート
 - 画面スクリーンショットの画像4点(CD-R等にて)
 - 作品の収録されたCD、DVD等



部門 10 TV-CM・映像・モーショングラフィック

10-a

CM

TV-CM、劇場CMなどコマーシャルフィルム

10-b

プロモーションビデオ

プロモーションビデオ、展示会・展示施設等の映像など

10-c

モーショングラフィック

TV番組のタイトル映像、ビデオやDVDコンテンツ等のタイトル映像、携帯の着信アニメーション、モーショングラフィック、自主制作映像など

出品形態

- 単品 ——— 1篇の映像作品
シリーズ ——— 複数の映像作品が一連の流れ（同一ブランド、同一テーマ、同一キャンペーン等）で展開されたもの。

出品料

単品	1点（篇）	一般2,000円・正会員1,000円
シリーズ	単品料金×点数	

注意事項

- 出品作品データは、1920×1080 FULL HD mov及びmp4データとします。
圧縮フォーマットH264 オーディオサンプリングレート48kHz オーディオビットレート24bit
- 作品意図により画像サイズ等を変更したい場合は、ご相談をお受けします。
部門10 担当/工藤哲央(e-mail:kudo@morning-sp.co.jp) までお気軽にお問い合わせください。
- 出品数が多数の場合、審査会に先立ち札幌ADC 運営委員により予備審査を行い、1次審査進出作品を選出させていただく場合があります。ご了承ください。
- ① 長尺およびシリーズ作品は、180秒以内に編集もしくは、抜粋して提出してください。
また、2次審査より映像を割愛する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ① 入賞した作品は、年鑑掲載の他、YouTubeにて限定公開します。
法令に基づく著作権、肖像権、プライバシー権など許諾が必要な場合は、出品者の責任において事前に許諾を得てください。
(許諾の確認に相応の時間が掛かる事が想定されます。予めのご準備をお願いいたします。)
また、YouTube利用規約に基づくYouTubeの対応を含め、札幌アートディレクターズクラブは一切の責任を負いません。

受付方法

部門10はオンライン受付です。
また、他の部門と受付日・受付方法が異なりますのでご注意ください。

[受付期間]2019年9月9日(月)～9月13日(金)
[送り先]e-mail: kudo@morning-sp.co.jp(株式会社モーニング内 担当/工藤哲央)
料金をお振込後、下記5点をオンラインストレージでアップロードし、
「ダウンロードURL」をメールにてお送りください。

出品料は銀行振込になります。(振込先:北洋銀行 円山公園支店(普)3760576 札幌ADC)
(a) 作品 (b) 作品カード [JPGまたはPDF] (c) 出品リスト [JPGまたはPDF]
(d) 部門10説明シート(絵コンテ等) [JPGまたはPDF]
(e) 振込の控えまたは利用明細書 [JPGまたはPDF]

メールをいただきましたら、ご入金確認・データ確認し担当より折り返しご連絡いたします。
部門10担当よりご入金確認・データ確認の連絡がきた時点でエントリー確定といたします。
ご希望の方は領収書を後日郵送いたします。

新人賞部門

作品受付は部門1～9と同じ
9.21(土)です。

11-s

35歳以下のアートディレクター
(または準じるクリエイター)が対象

(2019年12月31日に満35歳の誕生日を迎える方まで)

出品方法

2018年10月から2019年9月(審査会)までの間に制作された

「5作品」を提出してください。(必ず5作品)

- 作品カテゴリーや単品・シリーズの別は問いません。また、実際の仕事と自主制作の別も問いません。
- 応募者が主導の立場でアートディレクションを行った作品であれば、36歳以上の制作スタッフ(例えばフォトグラファーなど)が関わった作品でも出品できます。
- 複数人を1組としたユニット名義(または連名)でも応募できますが、その場合はユニットを構成するメンバー全員が35歳以下の場合に限ります。

出品料

ひとり(1ユニット)	5点作品	一般2,000円・正会員1,000円
------------	------	--------------------

注意事項

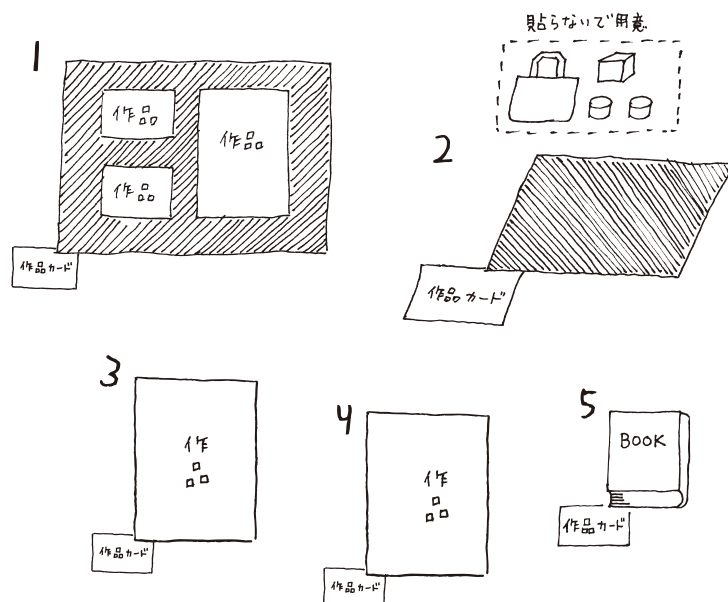
他の部門と重複して応募ができます。

ただし、それぞれの部門別々に出品してください。

(新人賞審査と、他の部門審査は別々に行われますので2つ用意してください)

- 出品受付時に年齢を証明できるもの(運転免許証等)をご提示ください。

新人賞部門は2016年より事前受付を廃止し、審査会場への直接搬入受付になりました。受付場所は、1～9部門作品とは別室になりますので、詳しくは作品受付会場の案内をご覧ください。



招待審査員 [本審査および新人賞審査担当]



柿木原政広

アートディレクター Masahiro Kakinokihara [東京]

1970年広島県生まれ。ドラフトを経て2007年に株式会社10(テン)を設立。

JAGDA会員。東京ADC会員。

主な仕事にsingingAEON、まいにちAEON CARD、R.O.U.のブランディング、東京国際映画祭、静岡市美術館、松竹芸能株式会社、信毎メディアガーデンのCI、美術館のポスターを多く手掛ける。カードゲームRoccaをミラノサローネに2012年から出展。著作に福音館の絵本「ぼんちんぱん」「ひともしえほん」など。2003年日本グラフィックデザイナーズ協会新人賞受賞。NewYorkADC賞、ONESHOW PENCIL賞、東京ADC賞、GOOD DESIGN賞受賞。



金井あき

アートディレクター Aki Kanai [東京]

1983年東京生まれ。2008年東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程修了。同年コクヨ入社。空間にメッセージを描く椅子「HELLO CHAIR」で KOKUYO DESIGN AWARD 2014 社内特別賞受賞。同作品は'16年に商品化。'18年 JAGDA新人賞、東京ADC賞受賞。



菊地敦己

アートディレクター／グラフィックデザイナー Atsuki Kikuchi [東京]

1974年東京生まれ。武蔵野美術大学彫刻学科中退。1995年、大学在学中よりデザインの仕事を始める。ブルーマークを経て、2011年より個人事務所。主な仕事に「青森県立美術館」VI計画、「大宮前体育館」サイン計画、「ミナ ペルホネン」や「サリー・スコット」のブランド計画、「[句]がまるごと」や『装苑』などの雑誌のアートディレクション、「亀の子スポンジ」のパッケージデザインなど。とくに美術、建築、工芸、ファッションに関わる仕事が多い。主な受賞に講談社出版文化賞ブックデザイン賞、日本パッケージデザイン大賞、原弘賞、東京ADC賞、JAGDA新人賞など。



小林一毅

グラフィックデザイナー Ikki Kobayashi [東京]

1992年滋賀県彦根市生まれ、大阪府寝屋川市、神奈川県横浜市育ち。2015年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。資生堂クリエイティブ本部を経て'19年独立。'16年東京TDC賞、'19年JAGDA新人賞、日本パッケージデザイン大賞銀賞受賞。



岡田善敬

アートディレクター／グラフィックデザイナー Yoshinori Okada [札幌]

1974年北海道帯広生まれ。

'95年、専門学校 札幌デザイナー学院卒業。同年、札幌大同印刷株式会社 入社。現在に至る。アイデアとユーモアを忘れず、人の心を動かすデザインを目指す。

主な受賞歴 札幌ADCグランプリ('08年、'12年、'15年、'18年)、札幌ADC2009準グランプリ、JAGDA新人賞2009、東京ADC賞('08年、'13年)他多数。主な著書に「オバケ!ホント?」(2014年 福音館書店)がある。



前田麦

イラストレーター／アーティスト Baku Maeda [札幌]

1974年生まれ。札幌出身・在住のイラストレーター/アーティスト

豊かな自然環境に囲まれた札幌の地にこだわり、近年生き物にインスピレーションを受けた作品を多く発表している。また、イラストワークとは別にリボンを使ったアート、「Ribbonesia」も展開中。国内を問わず様々な場所で作品を提供している。

Sapporo ADC運営・監査委員 [新人賞審査担当]

池田直俊	石塚雄一郎	市川義一
植田晃弘	大橋菜々	小笠原恒敏
岡田善敬	小田小百合	鎌田順也
鏡浩二	亀山圭一	川尻竜一
川本真也	工藤哲央	工藤鉄也
工藤“ワビ”良平	久保俊哉	久米井大輔
黒瀬ミチオ	小島歌織	後藤精二
小林仁志	佐々木美保	佐藤健一
仲嶋純也	中西“サビ”一志	長濱孝太
能登健一	野村ソウ	引地幸生
向井まどか	森川瞬	矢野佳糸美
やはずのよしゆき	山本健二	

ただし、新人賞部門に出品する運営・監査委員は審査員から外れます。